

気象警報発表時の対応について

気象警報発表時には、自宅待機、学校待機など、安全確保を最優先した対応をとってください。

【気象警報】大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪の警報（特別警報を含む）

【警報発表地域】羽島市及び、各自の居住地域、通学経路地域

【警報の発表情報の収集手段】(1) 各自がテレビ、ラジオ、スマートフォン、インターネットから得る。
(2) 居住する自治体の防災無線、広報車から得る。

【1】登校前に警報が発表された場合

羽島市及び、居住地域、通学経路地域すべての警報の解除があるまで自宅で待機する。
解除後は【5】へ。

【2】登校途中に警報が発表された場合

- (1) 帰宅と登校で安全な行動を選択する。
- (2) 状況によっては公共施設への避難など安全な行動をとる。
*いずれにせよ必ず学校（担任）に連絡すること。

【3】登校後に警報が発表された場合

- (1) 学校の指示があるまで校内で待機する。
- (2) 学校の指示により帰宅。または保護者の迎えを待つ。

警報が発表された直後で安全に帰宅できる状況にある場合は、警報が発表されていても帰宅させることがあります。その場合は、学校に連絡（すぐメール）してください。荒天の場合は、保護者への引き渡しを原則とします。

*帰宅後は必ず学校（担任）に連絡すること。

【4】警報が発表されていなくても危険が大きいと判断される場合

警報が発表されていなくても、バスや電車が止まったり、危険が大きいと考えられる場合は、安全な場所に避難したり、自宅で待機する。*必ず学校（担任）に連絡すること。

【5】羽島市及び、居住地域、通学経路地域すべての警報が解除された場合

- (1) 午前6時35分までに警報が解除→ 平常授業
- (2) 午前11時以前に警報が解除
解除2時間後から授業開始。（学校より緊急メール配信システム、ホームページ、緊急連絡網等で連絡）
 - ① 居住地域、通学経路地域に警報が発表されていれば自宅で待機する。
 - ② バスや電車の運行状況、通学経路の安全性等を確認したうえで登校する。
 - ③ バスや電車が止まったり、危険が大きいと考えられる場合は、自宅で待機する。

* 登校、自宅待機どちらにおいても、必ず学校（担任）に連絡すること。
- (3) 午前11時以降に警報が解除→ 当日の授業は中止。

【大事なこと】・自分の命は自分で守る。

- ・必要に応じて自分自身でその場に応じた最も適切な判断をすること。
- ・危険箇所には近づかない。
- ・自分の通学経路の危険箇所を確認しておくこと。
- ・緊急時の家族との連絡方法の確認しておくこと。